



〒225-0024 青葉区市ケ尾町 31-4(青葉区役所 1F)
TEL: 978-3327 FAX: 972-6311
Eメール: ao-machikatsu@city.yokohama.jp
ホームページ [青葉区区民活動支援センター](#) [検索](#)
〈開所時間〉月曜～金曜 8:45～17:00 第2・4土曜 9:00～12:00
〈休所日〉第2・4土曜以外の土曜、日・祝日、年末年始(12/29～1/3)

2019年 8月 第5号



センターからのお知らせ

「区民交流センターまつり」・「まち活フェス」の
出演団体(舞台)を募集します!

日頃の練習の成果を多くの方に披露するチャンスです。

奮ってご応募ください。



(1) 区民交流センターまつり

地域の方と触れ合える楽しいお祭りです。

【日時】11月23日(土・祝) 10:00-15:00(予定)

【会場】区民交流センター前・駅前広場 田奈駅 徒歩1分

【応募条件】

- ① 青葉区区民活動支援センターに登録して活動している団体
- ② 野外ステージ。マイク・CDデッキのみ設置。
- ③ 発表時間15分 ④ 出演参加料:無料

(2) まち活フェス

今年度初めての企画です。青葉区自慢の本格的なコンサートホール
で、区民の皆さんに日頃の成果を発表しましょう。

【日時】12月11日(水) 14:00～16:00(予定)

【会場】区民文化センター フィリアホール(青葉台東急スクエア South-1 本館) 青葉台駅 徒歩1分

- 【応募条件】
- ① 青葉区区民活動支援センターに登録して活動している団体
 - ② コン서트ホールで発表するのにふさわしい内容であること。
ステージの構造上、激しい動きのダンス等は利用できません。ご不明な点はお問合せください。
 - ③ アンプを使用する楽器や和太鼓等の演奏はご遠慮ください。
 - ④ 発表時間15分
 - ⑤ 出演参加料:無料
 - ⑥ 説明会に参加すること。(10月8日(火) 10:00～11:00)

(1)(2) 共通

【応募】所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、FAX 又はメールもしくは持参で応募。

応募団体多数の場合は抽選とし、9月中旬をめどに結果を連絡します。

申込用紙は青葉区区民活動支援センターおよび区民交流センターにて8月1日(木)から配布予定。

また、青葉区区民活動支援センターのホームページからダウンロードもできます。

【応募締切】8月30日(金)必着 ※(1)(2)両方の申し込み、出演も可。

【申込・問合せ】青葉区区民活動支援センター

メール: ao-machikatsu@city.yokohama.jp

電話: 978-3327 FAX: 972-6311

ホームページ: [青葉区区民活動支援センター](#) [検索](#)



【まち活】とは? 青葉のまちをさらに元気に・魅力的にするために、区民の皆さんが青葉のまちで活き活きと活動し、まちを活性化していただくことを目指しています。あなたのまち活を青葉区区民活動支援センターがお手伝いします!

英語の読み聞かせ「STORY TIME」 7月5日(金)

田奈にある区民交流センターを会場に、英語の本の読み聞かせ「STORY TIME」が開催されました。「STORY TIME」は英語の本に興味のある人は赤ちゃんから高齢の方までどなたでも参加できます。主催のハンプティダンプティ文庫は、海外から帰国した日本人児童をはじめ、二ヶ国以上の文化背景のあるこどものための英語の文庫で、読書や本の読み聞かせが活動の主体です。英語の本の読み聞かせボランティアをされていたネイティブスピーカーの人が帰国したためしばらく本の読み聞かせ活動を休止しているということで、区民活動支援センターにご相談がありました。ボランティア活動をしたいと相談に来所されていたグリーンリーフインターナショナルスクール青葉台代表 山崎カタリナさんをご紹介します、今回の会が開催されました。

当日は3人の子供と6人の大人の参加がありました。英語の絵本をただ読むだけでなく、合間に入るカタリナさんの子どもたちへの語りかけが絶妙で、子どもたちをはじめ参加者は絵本の世界に引き込まれていました。ハンプティダンプティ文庫では、会員のほか英語の本の読み聞かせをしてくださる人を募集中です。また、さつきが丘地域ケアプラザ、恩田地域ケアプラザ、山内図書館でも絵本の読み聞かせを予定しています。(Y)



★今回読んだ絵本
『A New Dog』
『Spot Bakes a Cake』
『Biscuit』
『Waiting is not easy』



★英語の本の無料貸出(一人2冊まで2週間)

ハンプティダンプティ文庫の本棚は区民交流センター(田奈駅徒歩1分)のミーティングコーナーにあります。選んだ本を青葉国際交流ラウンジのカウンターで、貸出ノートに記入してください。返却は青葉国際交流ラウンジのカウンターへ。

★ハンプティダンプティ文庫の会員・ボランティア募集や絵本の読み聞かせ日程等詳細は、ハンプティダンプティ文庫のホームページをご覧ください。

ホームページ: <https://hdlibrary1981.wixsite.com/home>

(問合せ先) ハンプティダンプティ文庫青竹 Eメール: hdlibrary1981@gmail.com

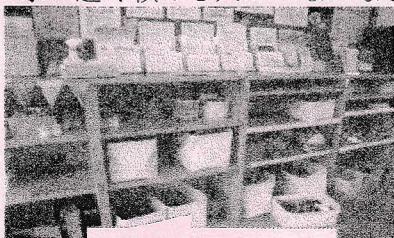
「ラフルで横浜子育てサポートシステムの入会説明会」 6月7日(金)

青葉台の青葉区地域子育て支援拠点ラフルで開催された、「横浜子育てサポートシステム」の入会説明会に参加してきました。会場では、この制度に登録している提供会員(預かる会員)が子どもを見守っているの子どもを連れての参加も可能でした。

「横浜子育てサポートシステム」は、地域の中で有償でお子さんを預けたり、預かったり、地域ぐるみで子育て支援をめざす仕組みです。預けたい方(利用会員)と、預かれる方(提供会員)がともに会員登録をし、ラフルにある青葉区支部が会員同士の出会いをコーディネートします。預かる方は、入会説明会、研修を受けてから会員になるので、預ける側も預かる側も安心してこの制度を利用できます。リフレッシュしたい、送迎をしてほしい、実家が遠く頼める人がいないなど、いろいろな理由で利用できます。1時間くらいのことでも手助けが必要な時に利用している人が多いそうです。現在、利用会員の数に比べ、提供会員の数がまだまだ足りないそうです。子育て経験を活かして何かお手伝いしたいと考えている人はぜひ相談してみてください。子育て中の皆さん、子育てに困った時、おしゃべりから人とつながるラフルを、ホッと一息つける居場所にしてみませんか。(T)

(問合せ先) 横浜子育てサポートシステム青葉区支部専用 TEL: 045-482-5518

木の温もりを感じる遊具



ラフル内の様子

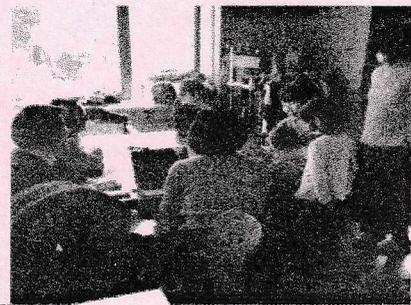
まち活Report

『街の家族』に行ってきました！ 6月12日(水)

今年で7年目になる街の家族は空き家になっていた奈良町の一軒家を利用したコミュニティハウスです。今年度「第9回横浜・人・まち・デザイン賞」地域まちづくり部門で受賞をされました。お料理、ハンドメイド、陶芸教室や親子の広場、季節ごとのイベント、子どもの見守り合いなどを通して、大切な地域のつながりを深めています。

こんにちは〜♪と玄関で声をかけても、にぎやかな人の声でかき消されてしまうほど笑い声が絶えません。伺った日は赤ちゃんと幼児服のリサイクルマーケットの日でした。その傍らで小さい子どもが遊んでいます。自然な感じで子どもを見合ったり、誰でも一緒においしい手作りのお昼ごはんをいただくことができます。私もいつの間にか溶け込んで帰る時間を忘れてしまいました。

また、庭で収穫した梅が梅干に漬ける準備で竹ざるにいっぱい広げてありました。梅干作りを教えてくださいれる人も地域の人です。ただ、この土地に根付くにはいくつもの困難を乗り越えてきたと伺いました。最近、パソコンを用意してお母さんがここでリモートワークもします。お子さんが小さくてもこの居場所がある限り、社会とつながり、子育てしながらスキルアップし、まちづくりを担う人になっていくことでしょう。街の家族ではいろいろな施設や団体とコラボレーションしたり、イベントを開催することで、地域の活動を広げて人と人をつなげることを意識しているそうです。(T)



みんなで遊ぼう。今日のごはん何かな



人とまちとつながる座談会 「子育てをひらく」 7月2日(火)

～子どもとわたしが心地良く暮らせるまちって？～

をテーマにした青葉区子ども家庭支援課主催・NPO法人森ノオト企画の座談会が、たまプラーザのさんかくBASEで開かれました。小さなお子さんには見守り保育も用意され、ママたちもお子さんを預けてほっと一息つきながら、青葉区での子育てについて本気で話し合いました。



ママとはなれても大丈夫

「児童館がない」「交通の便が悪い」「公園が狭い」といった“青葉区のいまいちな点”から「優しい人が多い」「意外に自然が豊富」「マナーがいい」といった“良い点”についてもたくさん挙がりました。また、「知らない人には挨拶をしない、という教育はどうしたものか」「私立もいいができるだけ地域の学校に通わせたい」といった声が聞かれ、子どもたちが地域の一員として生きていくための将来的な視点に立った意見を聞くことができました。

ファシリテーターである森ノオトの宇都宮南海子さんの温かく的確な進行に促され、参加者の皆さんが活発に発言し、「ケアプラザは子育て層も利用できるよ」「雨の日はどこに行っている？」といった情報交換も活発に行われました。区民活動支援センターでもどうしたら子育て中の皆さんにもっとセンターをご活用いただけるかをしっかり考え、さらに情報や機能を充実していきたいと思います。(SJ)



熱心にお話する皆さん

★9月10日ラフールサテライト(市ヶ尾)・9月19日ラフール(青葉台)でも座談会が開催される予定です★

まち活カフェの出会いから 生まれました！

バリアフリーコンサート開催

フィリアホールの区民企画事業として、コハーン・イシュトヴァーン&松本絃佳 ジョイントコンサートが愉音さんの主催で開催されます。愉音さんと協力者のNPO法人まちと学校のみらい、未来の樹・あおばの皆さんは、「まち活カフェ」参加をきっかけに交流がはじまり、LET'S COME TOGETHER を立ち上げてフィリアホールでのバリアフリーコンサート開催に発展しました！5月のまち活カフェで初めて出会った人達の企画がこんなに早くステキに実現しました。これからも、カフェで集まった人同士がいろんなところでつながっていくことを願っています。

2019年度横浜市青葉区民文化センターフィリアホール区民企画事業

バリアフリー コンサート

-LET'S COME TOGETHER-

コハーン・イシュトヴァーン & 松本絃佳

ジョイントコンサート
声を出しても動いても大丈夫！
コンサートのラストには、
トーンチャイムや打楽器を手にして
演奏に参加しませんか？

2019年
8月23日(金)

[時間] 朝11時開演(約1時間)
[場所] 青葉区民文化センター
フィリアホール・ホワイエ
[定員] 先着109名

[チケット]
一般: 1000円
親子券(0歳から可): 1500円
兄弟・姉妹券: 500円

[チケットご予約のお問合せ]
お名前、お住所、お電話番号、メールアドレス、お希望チケット枚数
記載の上、下記メールアドレス または QRコードから
お申し込みください。
メールアドレス:
ticket.info.222@gmail.com

[アクセス]
青葉区民文化センター・フィリアホール
〒227-8535 神奈川県横浜市青葉区青葉2-1-1
青葉区民文化センター1階3階
TEL: 045-945-8355
FAX: 045-945-8360
※有線放送局モニタが録音機のサービスはございません。

バラエティ豊かな選曲
です。本格的な音楽に
誰でも気軽に触れるこ
とができるまたとない
機会です！

お申し込み
お問い合わせは
ticket.info.222@gmail.com

協力会社から先着 100 名様に
プレゼントがあります！

「まち活カフェ」は、
地域活動に関心のある
人たちがワイワイ集ま
れる場所を提供し、よ
りよい街をつくるためのプロジェ
クト。興味のあるテーマに参加し
て、コーヒーを片手に意見交換をす
るなど交流してみませんか？活動
中の人はもちろん、何かを始めよう
としている人、何から始めたらいい
かわからない人、始めたばかりの人
も集まって、つながりや市民活動を
始めるきっかけにさせていただき
たいと思っています。

「第7回まち活カフェ」

テーマは「子ども・子育て(学齢期編)」です！

青葉区は子育て世代が多く住んでいるまち。子育て支援に関わる人や情報、活動団体がたくさんあります。まち活カフェで子育て当事者の目線でコーヒーを飲みながら子育てについて交流しませんか？新たな出会いが生まれるかもしれません。

【日時】8月29日(木) 10:00~12:00

【場所】区民活動支援センター(区役所1階)

【参加費】50円 ※保育スペースあります。

【ゲストスピーカー】

- ・学校地域コーディネーター 宮原 泉さん
- ・青葉区地域子育て支援拠点ラフール 佐藤 有紀さん
- ・市ヶ尾ユースプロジェクト 葉石 真澄さん
- ・おもしろ科学たんけん工房 千葉 恭弘さん



編集後記

活動団体の方々やイベントに参加されている皆様の、何かを形にして行く時の素早さやパワーに感動です。日々学ばせていただいています。(SJ)